

資料1

平成30年度 第1回障がい者差別解消支援地域協議部会 委員意見まとめ

(平成30年10月5日(金) 午後3時から午後5時)

- 1 相談窓口の対応状況(個別事案)に対する意見
 - ・ 明確に障がいを理由にしていなくても、入店拒否については、できるだけ詳しく状況を把握すべきである。
 - ・ 遊戯施設の事案について、未解決として終了することなく、継続して取り組むこと。
 - ・ 障がいのある人への対応で判断に迷うことがあれば、事業者にも、この協議部会や相談の仕組みを活用してもらいたい。
 - ・ バスの乗客対応において、乗り降りに時間がかかることがあるなど、障がい特性により必要な配慮も異なるため、研修などを重ねて障がいに対する理解をより一層深めてほしい。
 - ・ 就業支援機関等の事案が報告されているが、障がい者の身近で支援する立場の事業所には、徹底して指導するとともに、他の事業所でも起こらないようチェックすべきである。

- 2 「事例の検討」に関する資料への意見
 - ・ 電動カートの入店拒否や自署ができない場合の契約など、よくある事例でわかりやすく、啓発を進めてほしい。
 - ・ 特に、金融機関や携帯電話の代理店などで、自署ができない場合の対応について、まだ十分でないので、事業者へ働きかけ、啓発をお願いしたい。

- 3 「電動車いすに関する啓発資料(案)」にかかる意見
 - ・ 電動車いすの啓発資料は日本で初とのこと、是非それをアピールし、どんどん広めていただきたい。
 - ・ 修正意見あり ⇒ 意見を踏まえて、適宜修正のうえ、発行

- 4 障がい者グループホームの設置促進に向けた啓発の実施に対する意見
 - ・ 様々な方面に向けて、ホームページだけでなく、パンフレットの作成などに取り組んでほしい。